

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 福島

学 校 名 海老江東小学校

学校長名 三枝 由佳里

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・海老江東小学校では、第6学年 58名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は、大阪市平均を5ポイント、全国平均を3.2ポイント上回っている。領域別では、特に「読むこと」において、全国平均を約5.7ポイント、市平均を6.3ポイント上回っている。一方で、「話すこと・聞くこと」においては、大阪市平均を0.2ポイント上回ったものの、全国平均を1.9ポイント下回っている。

算数の平均正答率は、大阪市平均を4.1ポイント全国平均を4.5ポイント上回っている。また、すべての領域について、大阪市平均・全国平均を上回っており、特に「図形」においては、大阪市平均を13.6ポイント、全国平均を13.8ポイント上回っている。

理科の平均正答率は、大阪市平均を3ポイント、全国平均を0.9ポイント上回っている。領域別では、「生命を柱とする領域」において、大阪市平均を4.5ポイント、全国平均を3.9ポイント上回っている。一方で、「エネルギーを柱とする領域」においては、大阪市平均を2.2ポイント、全国平均を6.2ポイント下回っている。

無解答率(問題に解答していない割合)は、国語で2.3ポイント、算数で2.7ポイント、理科で1.5ポイントと、全国平均と比べて低い値となっており、粘り強く問題に取り組んでいることがわかる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕昨年度までの5年間、学力向上支援チーム事業におけるスクールアドバイザーの助言を得ながら、国語科を中心に「主体的対話的で深い学び」をめざし、校内研究に取り組んできた。特に、根拠を明らかにしながら文章を読み取る指導の工夫をしてきたことで、「読む」領域について顕著な成果が表れている。一方で、「話すこと・聞くこと」については課題が見られた。今後は、知りたいことについて、自分が知っていることや予想したこと、疑問に感じていることなどを聞く目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、それらを互いに結び付けて関係を明確にしたりできるようにすることが重要である。

〔算数〕少人数指導や習熟度別少人数指導による「主体的・対話的で深い学び」をめざす指導を進めてきた。特に授業において、身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見出すなどの指導の工夫を重ねたことで、前年度、課題であった「図形」の領域では顕著な成果が表れてきている。

〔理科〕「理科が好き」と回答する児童を育てるため、理科教育推進校として観察・実験を多く取り入れ、観察・実験の結果を整理する指導の工夫を行ってきたことで、自分の考えたことを表現することができるようになってきている。一方で、電気や電流の知識を問う問題に課題がみられることから、学習した内容の理解を深めることができるような指導の工夫が必要である。

質問調査より

「早寝早起き朝ご飯」などの基本的な生活習慣の定着について、「元気100%週間」などの本校のこれまでの取組と家庭との連携の効果が表れていると考える。また、「人が困っているときは進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」「幸せな気持ちになることがよくある」と回答する児童が大阪市平均・全国平均と比べて多く、良質な仲間関係を築き、学校生活に満足している児童が多いことがうかがえる。また、国語、算数については「授業の内容がよくわかる」と回答していること、また、理科についても「観察・実験をよく行っている」との回答の割合が多くなっていることから、これまでの指導改善の成果が表れているといえる。

課題としては、自分で課題を立てて情報を集めて整理したり、友達や周りの人の考えを大切にしながら、自分の考えをまとめたりして発表するなどの学習活動の機会が大阪市平均・全国平均と比べて少ないことから、総合的な学習の時間などにおいて、友達と協力しながら課題の解決に取り組む力をつけていけるようにする必要がある。また、タブレットやPCなどのICT機器を活用して学習を進めたり、自分の意見を発表したりする機会が、大阪市平均・全国平均と比べて少ないことから、さらに活用を進めていく必要がある。

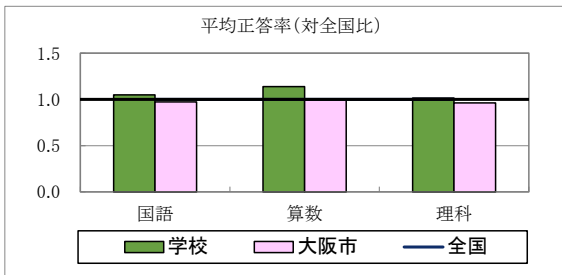
今後の取組(アクションプラン)

- これまで取り組んできた自主学習習慣の定着に向けた取組をさらに充実させる。
- 総合的な学習の時間等において、自分で課題を立てて情報を集め、整理しながら考え、友達と交流しながら考えを深め、表現するなどの学習の過程をとおして他者と協力しながら課題を解決する、探究的な学習を進める。
- ICT機器を効果的に活用するなどして、一人一人の状況に応じた学びができるようにする。

【 全体の概要 】

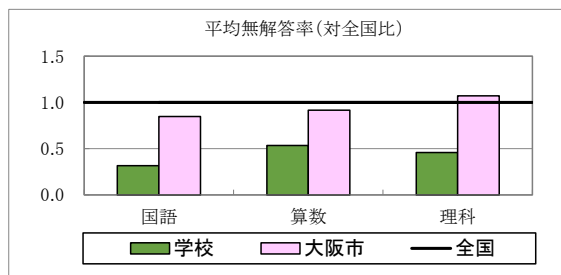
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	70	66	58
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	1.0	1.9	1.3
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



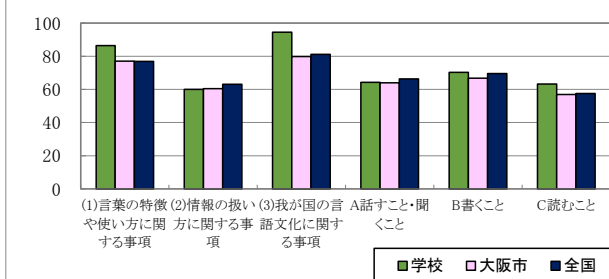
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	86.4	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	60.0	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	94.5	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	64.2	64.0	66.3
B 書くこと	3	70.3	66.7	69.5
C 読むこと	4	63.2	56.9	57.5

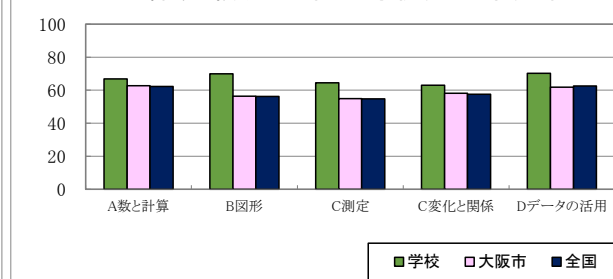
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	66.8	62.7	62.3
B 図形	4	70.0	56.4	56.2
C 測定	2	64.5	54.9	54.8
C 変化と関係	3	63.0	58.2	57.5
D データの活用	5	70.2	61.9	62.6

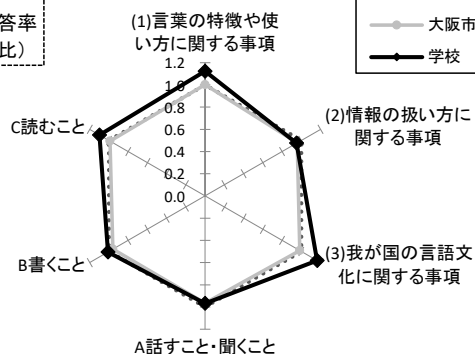
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



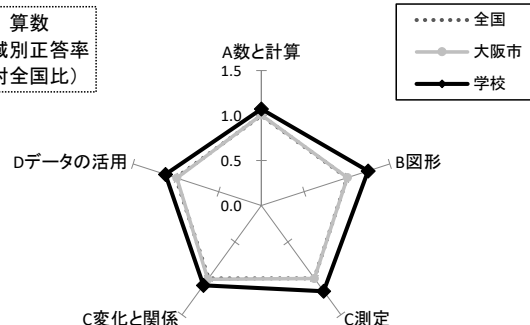
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

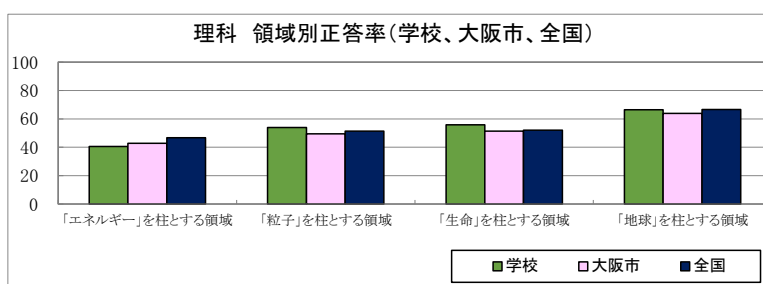


算数
領域別正答率
(対全国比)

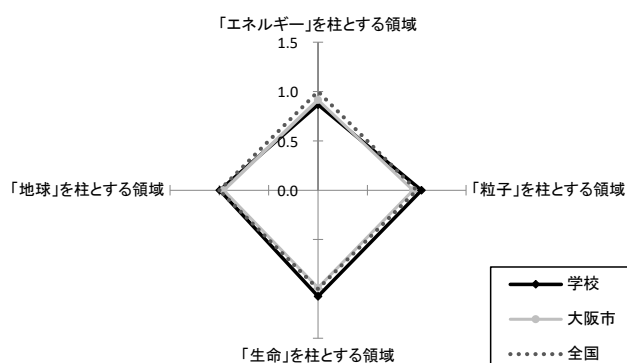


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	40.5	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	53.9	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	55.9	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	66.4	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



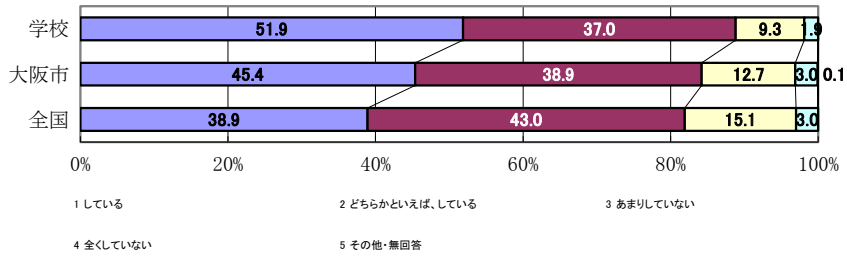
児童質問より

質問番号

質問事項

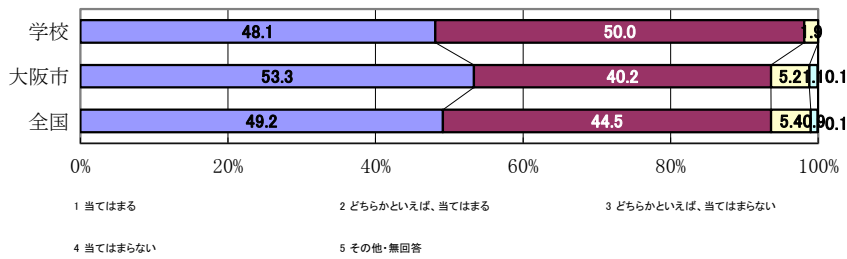
2

毎日、同じくらいの時刻に寝て
いますか



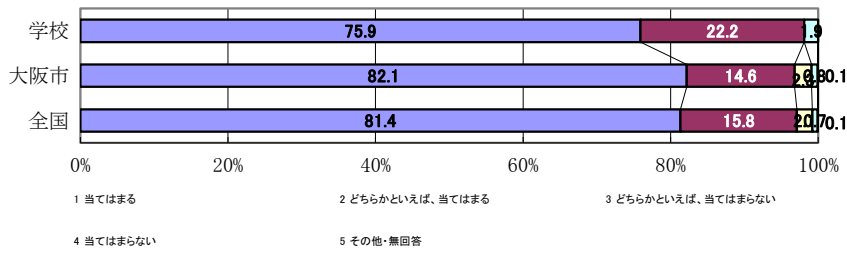
8

人が困っているときは、進んで
助けていますか



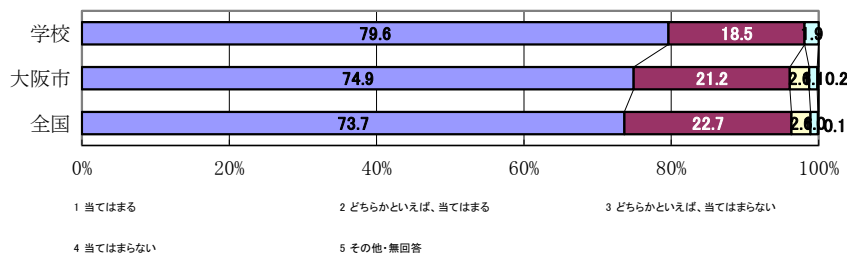
9

いじめは、どんな理由があっても
いけないことだと思いますか



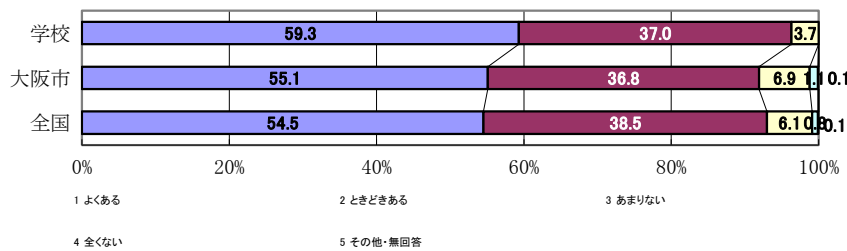
11

人の役に立つ人間になりたい
と思いますか



15

普段の生活の中で、幸せな気
持ちになることはどれくらいあ
りますか



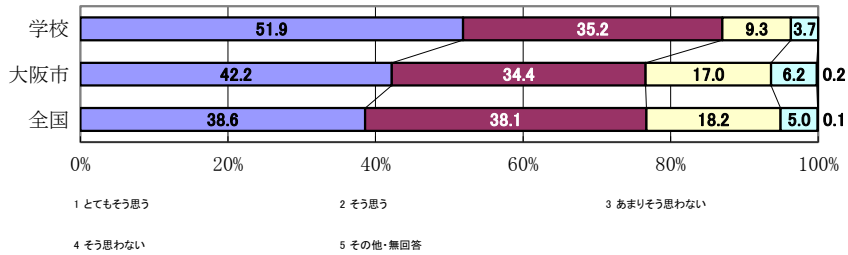
児童質問より

質問番号

質問事項

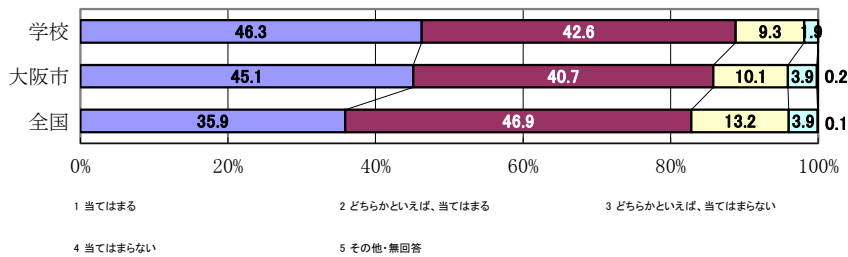
75

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか



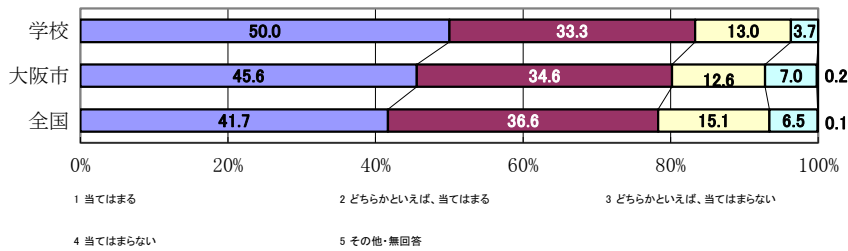
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



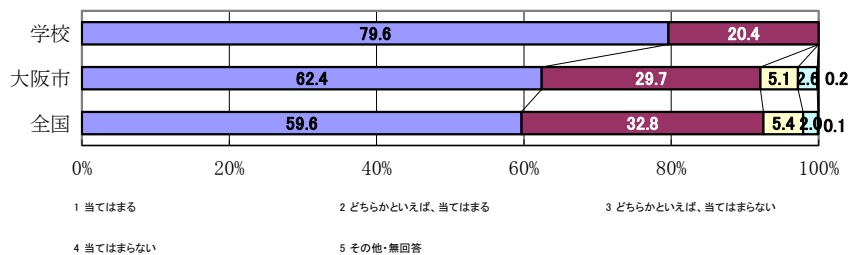
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



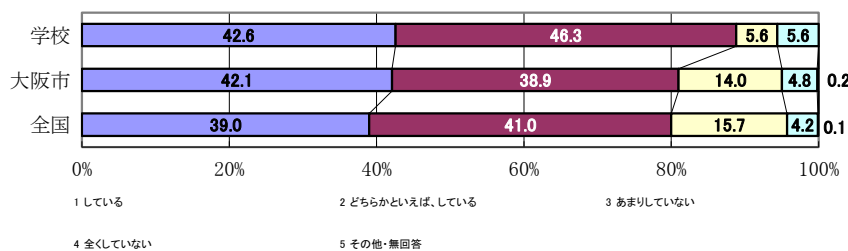
67

理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか



71

健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立っていますか



児童質問より

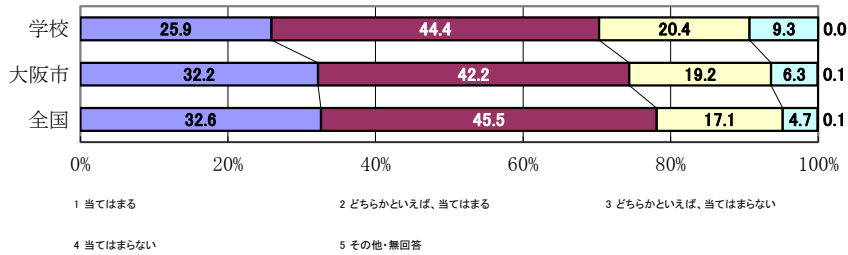
質問番号

質問事項

13

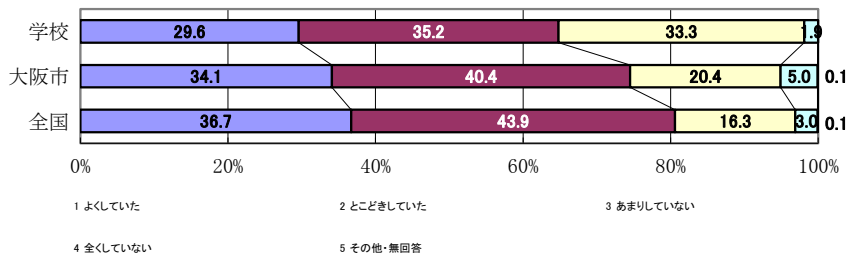
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



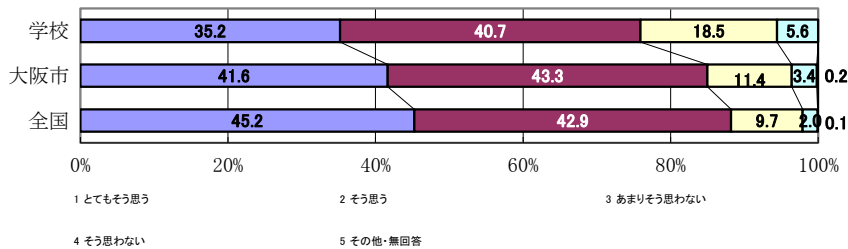
25

これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか



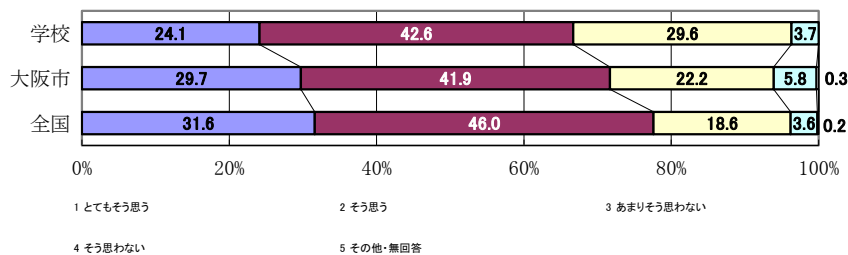
79

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(4)画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる



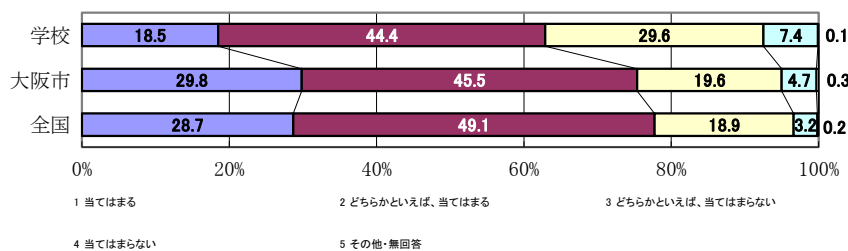
80

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(5)自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる



33

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



児童質問より

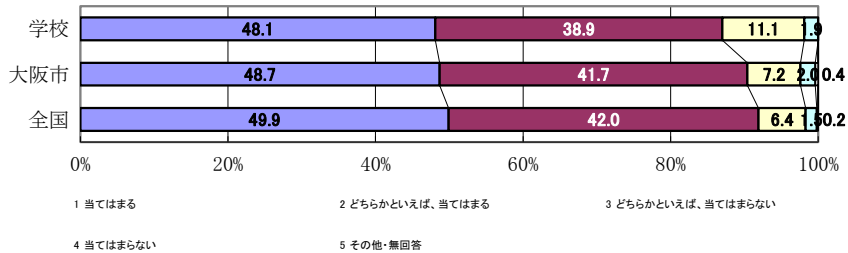
質問番号

質問事項

39

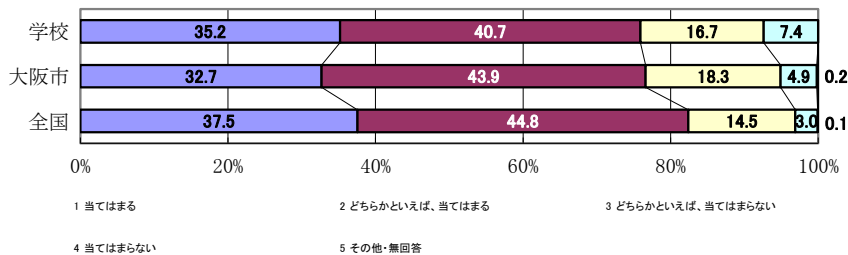
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

1 2 3 4 5 6 7 8



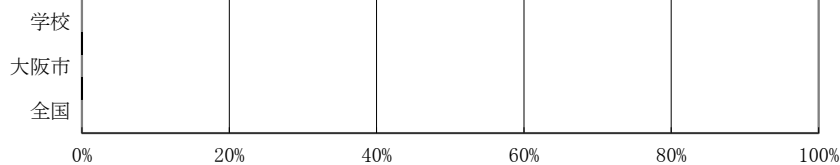
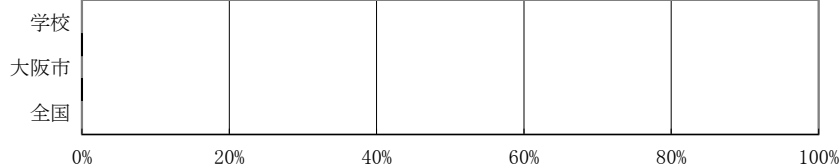
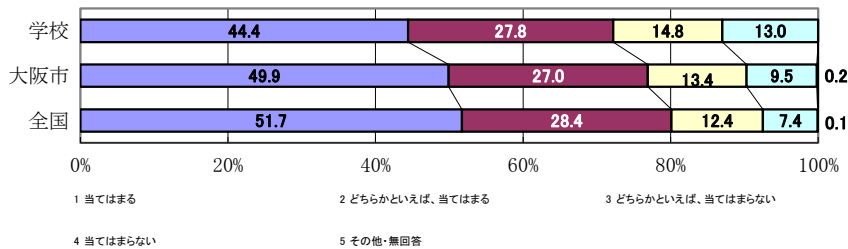
40

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



61

理科の勉強は好きですか



学校質問より

質問番号

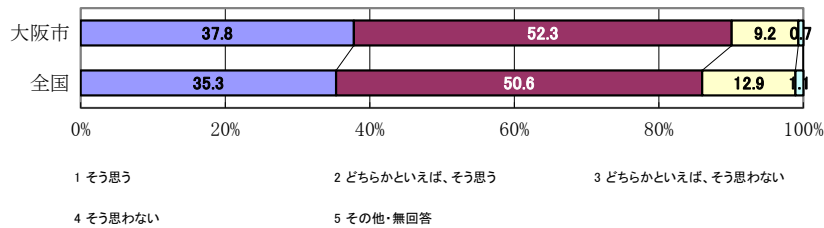
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

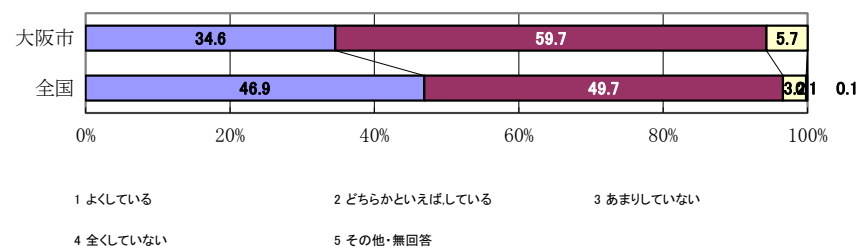
学校 「そう思う」を選択



14

教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか

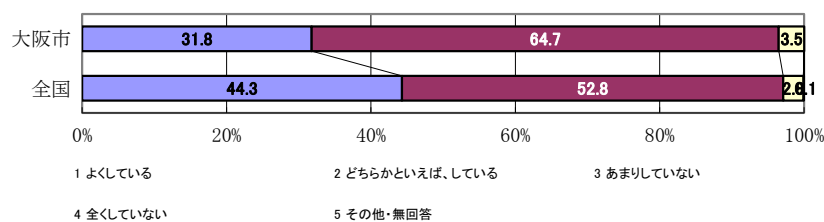
学校 「よくしている」を選択



15

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

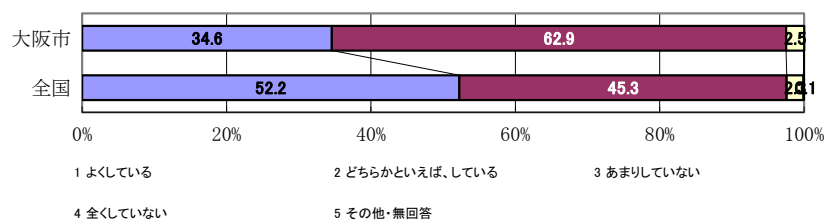
学校 「よくしている」を選択



16

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

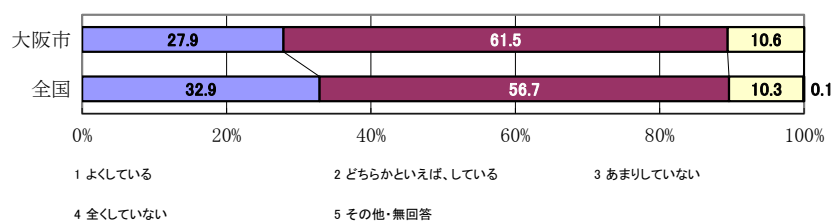
学校 「よくしている」を選択



19

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

学校 「よくしている」を選択



学校質問より

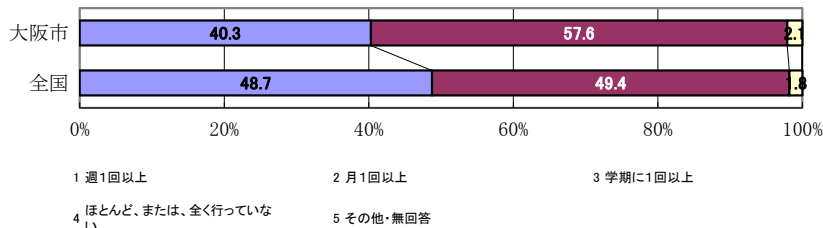
質問番号

質問事項

54

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、児童が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

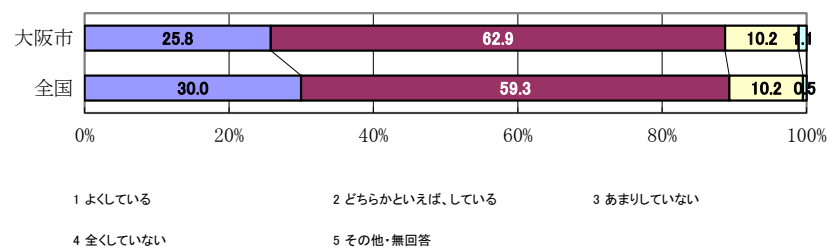
学校 「週1回以上」を選択



74

教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか

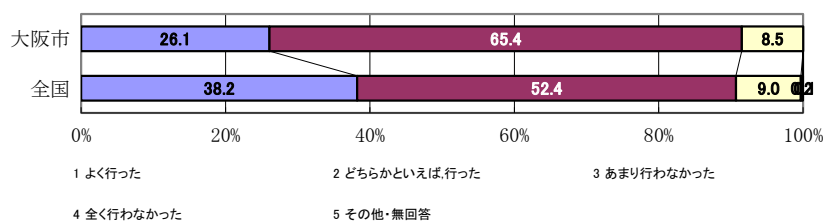
学校 「よくしている」を選択



81

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

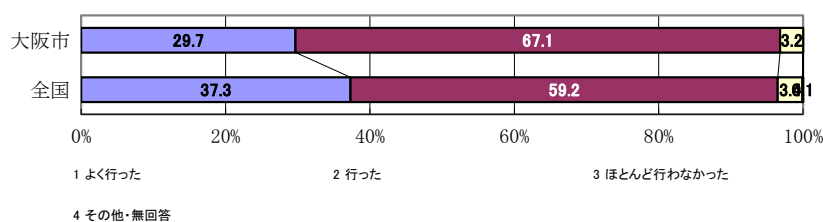
学校 「よく行った」を選択



83

令和6年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

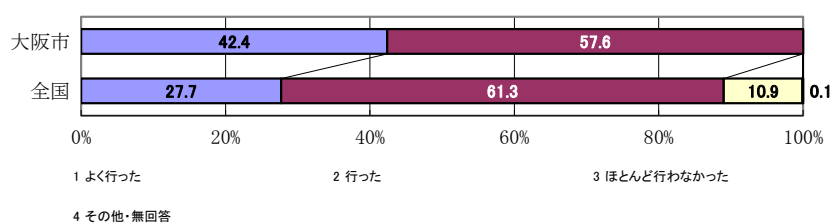
学校 「よく行った」を選択



84

令和6年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)

学校 「よく行った」を選択



学校質問より

質問番号

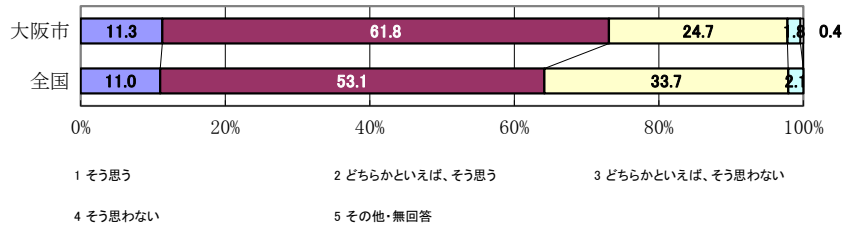
質問事項

29

調査対象学年の児童は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

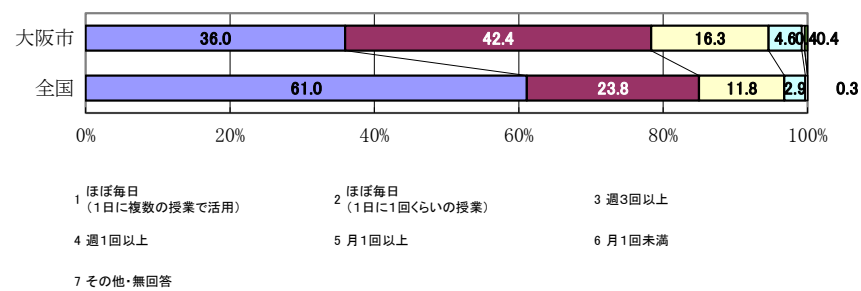
学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

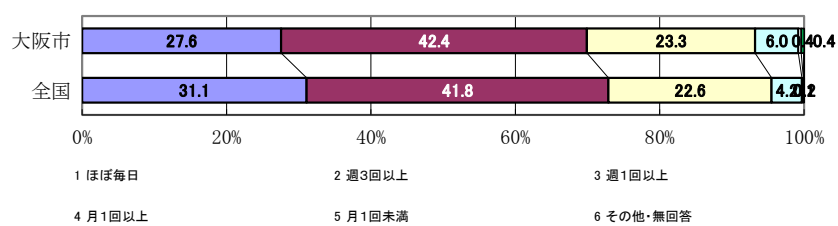
学校 「週1回以上」を選択



59

調査対象学年の児童が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

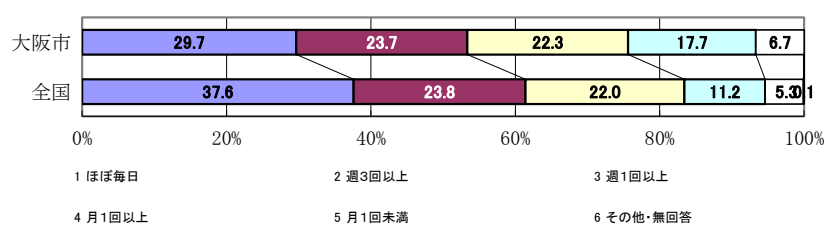
学校 「週1回以上」を選択



61

教職員と調査対象学年の児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

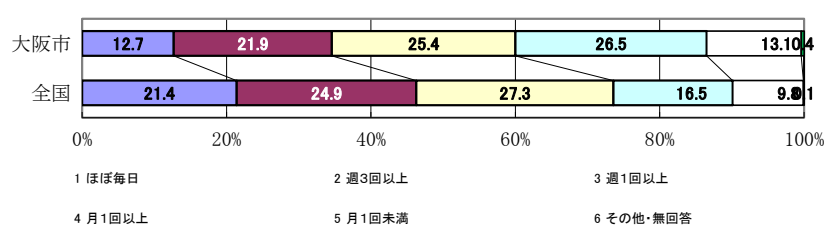
学校 「月1回以上」を選択



62

調査対象学年の児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「月1回以上」を選択



学校質問より

質問番号

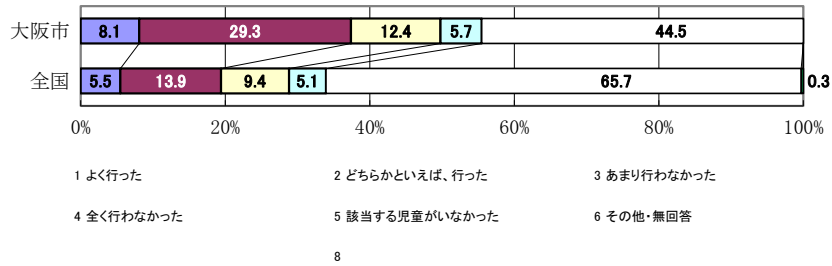
質問事項

68

障害のある児童が一人一人に
配備されたPC・タブレットなど
のICT機器を活用する際、入
出力支援装置等を活用し、障
害種・障害の状態や特性及び
心身の発達の段階等に応じた
支援をどの程度行いましたか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

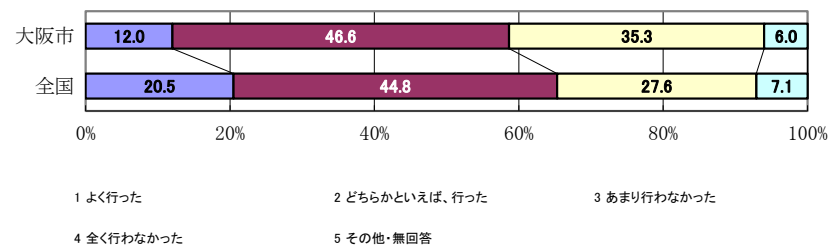
学校 「あまり行わなかった」を選択



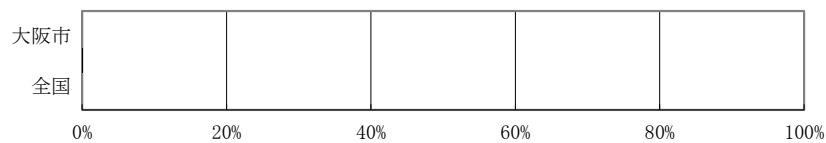
72

前年度までに、近隣等の中学
校と、教科の教育課程の接続
や、教科に関する共通の目標
設定等、教育課程に関する共
通の取組をどの程度行いまし
たか

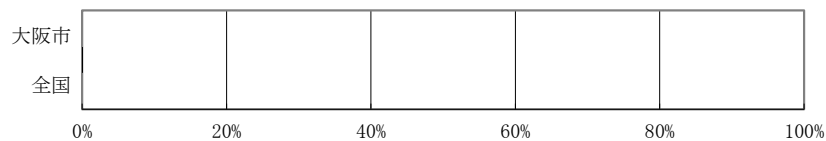
学校 「全く行わなかった」を選択



学校 「」を選択



学校 「」を選択



学校 「」を選択

